


海外感染症情報

情報源：
厚生労働省検疫所ホームページ
(<http://www.forth.go.jp>) 新着情報

発生地域	更新年月日	情報内容
アフリカ	2015年05月22日	エボラ出血熱の発生状況（第20週）：補足
—	2015年05月19日	ヒトと動物に共通するインフルエンザ感染症の概況（更新4）★
—	2015年05月19日	中東呼吸器症候群（MERS）の発生状況（更新22）
—	2015年05月19日	フランスのアルザス地方で麻疹が流行しています

★【2015年05月19日更新 ヒトと動物に共通するインフルエンザ感染症の概況（更新4）】*抜粋

■鳥インフルエンザA（H5）ウイルスのヒトへの感染 （中略）

鳥インフルエンザA（H5）ウイルスに対する全体的な公衆衛生上のリスク評価

報告された患者は散発的とみられています。また、これらの国の風土では、ウイルスが家禽の間で土着していることが知られています。鳥インフルエンザウイルスが家禽に流行しているときには、散発的にヒトへの感染または小さな集団感染が、感染した家禽やウイルスに汚染された環境、特に家庭で家禽と接触する人々の間で起こり得ます。それ故、さらなる散発的な患者が発生しても予想外ではありません。

動物からヒトへの感染者数の増加が、過去数か月にわたってエジプトから報告されていますが、これらのインフルエンザA（H5）ウイルスは、現在、ヒトとヒトの間で簡単に感染伝播することはありません。したがって、地域集団レベルで感染が広がるリスクは低く、リスク評価は変わりません。

2015年3月にエジプトに派遣された高官レベル合同調査団の声明とその調査団の報告書の要旨を、以下のサイトで見ることができます：

<http://www.emro.who.int/egy/egypt-news/upsurge-h5n1-human-poultry-cases-may-2015.html>

■非季節性のインフルエンザウイルスによるヒトへの感染

• 中国での鳥インフルエンザA（H7N9）ウイルスのヒトへの感染

WHOへの報告によれば、死亡者261人を含む鳥インフルエンザA（H7N9）感染者657人が検査で確認されています。最近報告されている患者の大半は、生きた家禽が売られている市場を含む、感染した生きた家禽やウイルスに汚染された環境との接触機会と関係しています。インフルエンザA型（H7N9）ウイルスは、患者が発生している地域での家禽とそれらが飼われている環境から検出され続けています。過去にヒトから分離されたウイルスと比較して、最近の患者から分離されたウイルスに大きな遺伝子変異は認められていません。これまでの情報では、ヒトとヒトの間で簡単に伝播するものでないことを示唆しています。